

第6学年 社会科 学習指導案

日時 平成20年10月17日(金) 2校時
児童 男子5名 女子4名 計9名
指導者 教諭 佐藤和生

- 1 単元名 戦争から平和の歩みを見直そう
～戦争と人々の暮らし～

2 単元について

学習指導要領における第6学年の社会科の目標は、「社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする」である。また、内容(1)には、我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする」とある。ここでは、次の「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきてきたことが分かること」について学習する。

本中単元(戦争と人々の暮らし)に関わっては、日本の戦争がアジア・太平洋に広がっていく経過や社会の様子や人々の暮らし、戦争の被害の状況について理解すること、歴史的諸資料の活用や地域の人々への聞き取り調査などを通じて、自分たちの生活の歴史的背景に興味を持ち、具体的事実に基づいて論理的・感性的に考えることをねらいとしている。

3 児童について

児童は、6年生から始まった歴史学習に興味を持ち、歴史上の人物や時代背景などの学習に意欲的に取り組んでおり、家庭学習で進んで歴史の学習を行ったり、歴史関連の書物を読んだりする児童もいる。

授業では、最初の時間を利用して、児童や教師が問題を出し、それに他の児童が答えるという歴史クイズを行う活動を位置付けてきた。また、絵や写真、資料等をもとに当時の人々の生活や社会の様子を想像しながら学習を進めたり、貴族の食事や江戸時代の人々の食事を調べるといった活動も取り入れてきた。

総合的な学習の時間の「若竹定食をつくろう」について学習したりすることを通して、昔の人々の食や地域の食に目を向けるようになってきている。

しかし、歴史的事象について、つながりや関連性をもとに考えることが苦手な児童や、学習内容が現在の自分たちの生活とつながっているという意識が弱い児童が見受けられる。

そこで、本単元の学習では、身近な地域にも目を向けさせ、戦争と国民生活が自分たちの今の生活ともつながっていることに気づかせたい。

4 指導について

指導の際には、戦争というものが身近に感じるできない児童が多いと考えられるので、地域の資料をできるだけ取り上げて指導を進めていきたい。また、戦争中の人々の暮らしについて指導する際には、教科書や資料集の他にも、様々な文献から資料を提示し、より深くその当時の様子について考えさせたい。そして、単なる歴史事実の知識量を増やすのではなく、その当時の社会状況や人々の思いや願いなどについても深く考えさせたい。そのために、地域人材や史跡などを取り上げて指導していく。

食育とかかわって、戦争中の食生活の様子を資料や地域の方のお話を聞くことや、現在の食生活を比較することなどを通して、食の歴史等を理解し、食物を大切にする心や食事の喜びを実感させたい。

5 単元の見目

- 戦争の経緯と戦争中の国民生活の様子について、進んで調べようとする。
(社会的な事象への関心・意欲・態度)
- 日本が満州を支配しようとした目的や戦争によってアジアの国々が受けた被害、戦争中の国民生活の様子について考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- 資料や地域の人の話をもとに、戦争について調べ、調べたことを工夫してまとめることができる。
(観察・資料活用 of 技能・表現)
- 戦争の経緯や、戦争によって国民生活に大きな被害が及ぼされたことを理解することができる。
(社会的な事象についての知識・理解)

6 食育とのかかわり

- <育みたい心> 食物を大切にし、食物の生産に関わる人々へ感謝する心をもつ
- <育みたい知識・理解> 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する
各地域の産物、食文化に関わる歴史等を理解し、尊重する

7 指導計画と評価規準 (全7時間)

時間	小 単 元	主 な 活 動	評 価 規 準
1	中国との戦争が始まる	日本と中国との戦争がどのように始まり、展開していったのか調べながら、その背景や国内外の動き、人々の暮らしの変化をとらえる。	・日本が満州を支配しようとした目的について考えることができたか。(思考・判断)
1	アジア・太平洋に広がる戦争	中国との戦争がその後どのようにアジア・太平洋に広がっていったのか、その経過や影響について調べ、まとめる。	・戦争が拡大し、相手国や地域が広がっていったことを理解することができたか。(知識・理解) ・戦争によってアジアの国々が受けた被害について考えることができたか。(思考・判断)
1 本時	戦争と国民生活の変化 食育との関わり	戦争中の人々の生活の様子について資料をもとに考え、戦争によって暮らしがどのように変化したかについて考える。	・戦争中の人々の暮らしの様子について考えることができたか。(思考・判断)
3	複線型学習 戦争中の子どもたちの暮らし身近な地域と戦争	戦争中の子どもたちの暮らしの様子を調べ、子どもと戦争の関係について考える。 戦争でなくなった人々をまつる忠魂碑やお墓など調べ、地域の人々と戦争とのかかわりについて考えることができるようにする。	・自分で決めたテーマについて、様々な資料から調べ、考えることができたか。(関・意・態) ・調べたことを整理し、分かりやすくまとめることができたか。(観察・資料) 戦争中の子どもたちの様子や地域と戦争とのかかわりなどについて考えることができたか。(思考・判断)
1	沖縄・広島・長崎、そして敗戦	沖縄戦や広島・長崎への原爆投下、敗戦にいたる経緯などについて調べ、戦争で人々が受けた被害の大きさに気づき、この戦争に対する考えを深める。	・沖縄の戦いが、兵士だけでなく一般市民も巻き込んだ悲惨なものであったことをとらえることができたか。(思考・判断) ・日本が敗戦にいたる経緯を、国内外の状況から理解することができたか。(知識・理解)

8 本時の指導

(1) 指導目標

戦争中の人々の生活の様子について資料をもとに考え、戦争によって暮らしがどのように変化したかについて考えることができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	教師の支援（・）と評価（☆）	教材・資料等
導 入 7 分	1 小学生の平均身長の変化のグラフをから気づいたことを話し合う。 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">戦争中、人々はどのような暮らしをしていたのだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから1946年が身長が落ち込んでいることに着目させ、その理由について考えさせる。 ・1945年に戦争が終わったことを知らせ、落ち込みの原因に戦争が関係していることに気づかせる。 	平均身長のグラフ
展 開 30 分	3 戦争中の国内の状況について理解する。 4 戦争中の暮らしについて事前に調べたことを話し合う。 5 地域の方から戦争中のお話を聞く。 6 市内の給食の残食について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぜいたくはできないはずだ」のぜいたくの意味について考えさせ、物資が不足していたことに気づかせる。 ・事前に戦争中の暮らしについて、お家の人から聞いたことを発表させる。 ・現在の自分たちの暮らしとも比較しながら話し合わせる。 ・地域の方からお話をいただくことで、より身近なこととして戦争をとらえさせたい。 ・地域の方には、食生活を中心に戦争中の暮らしを話していただく。 ・児童の発達段階や実態に合うような話になるように、地域の方とは事前に打ち合わせをしておく。 ・戦争中の食料事情と比較して、考えさせたい。 	戦争中の写真 横田地域の方の話 残食の資料
終 末 8 分	7 学習プリントに授業で分かったことや感想を書く。 8 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して分かったことを、現在と比較してまとめさせる。 ・自分の感想も入れながらまとめることができるようにしたい。 ☆戦争中の人々の暮らしの様子について考えることができたか。 	

(3) 板書計画

